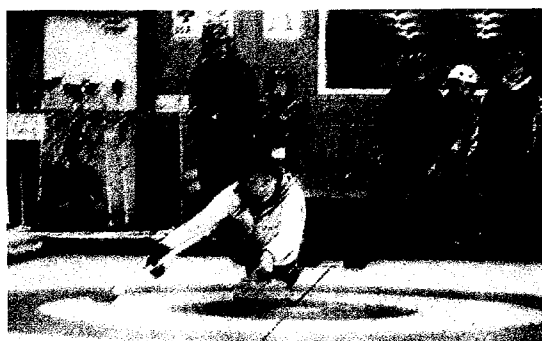
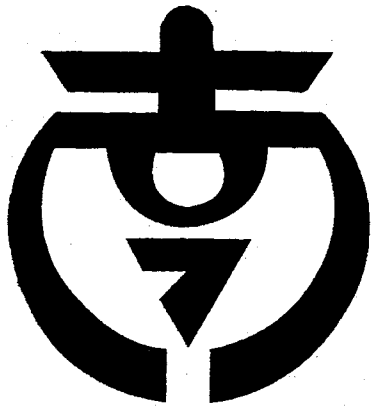


南富良野町 第7次社会教育中期計画

(平成30年度～平成34年度)



南富良野町教育委員会



町章

南富良野町の南の中に、フラノのフの字を包含し、金山ダムと町の地形からくる円やかさを形象化しながら、全体として町の上昇発展を表現しています。

町民憲章

わたしたちは、太陽と森と湖のまち南富良野の町民です。先人の開拓精神を受け継ぎ、太陽のようにあたたかく、森のようにたくましく、湖のように清く豊かな夢と希望にあふれるまちをつくります。

1. 健康と安全に努め、明るい家庭を築きましょう。
1. 勤労を尊び、社会に貢献する自分を磨きましょう。
1. 感謝と思いやりの心を持ち、豊かな自然を生かしましょう。
1. 知性を高め、郷土に根ざす文化のまちをつくりましょう。

〇はじめに

南富良野町の社会教育の振興にあたり、日頃から関係各位のご協力を頂きながら着実に進めていくことができましたことに、衷心より感謝を申し上げます。

また、南富良野町第6次社会教育中期計画（平成25年度～平成29年度）の推進に多大なご協力を頂き、かつ、南富良野町第7次社会教育中期計画（平成30年度～平成34年度）の立案に携わって頂いた社会教育委員の皆様には心から敬意を表します。

現在、人口減少、高齢化、急速な技術革新、グローバル化など社会的変化が加速度的に進展しております。こうした中で、地方創生を成し遂げるためには、ふるさとを愛し、地域社会の発展に貢献する人材の育成が求められています。

変化の激しいこれからの社会を生きるためには、たくましく「生きる力」を育成するという理念のもと、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）の調和のとれた子どもの育成を図るため、家庭や地域との連携を深めながら、豊かな学びを創り出す教育活動の推進が必要であり、本町に住む人たちが心豊かに健やかに生きがいを実感できるよう、各世代に応じた生涯学習と活躍できる機会の創出を進めてまいります。

本計画は、これまでの事業の点検・評価を行い、社会教育の現状を踏まえた上で、第5次南富良野町総合計画における「学ぶ力・健やかな体・豊かな心を育むまちづくり」を具体的に進めるための道標となっています。

今回、社会教育委員の皆様から答申を頂いた計画を策定する運びとなったところですが、今後は、この計画を基に取り組んでまいります。

本計画の目指す目標に向かって、関係各位と町民の皆様の益々のご理解とご協力をお願い申し上げ、策定にあたってのことばといたします。

平成30年3月

南富良野町教育委員会

教育長 岩 淵 秀 一

南富良野町第7次社会教育中期計画策定にあたって

南富良野町の社会教育推進のための「南富良野町第7次社会教育中期計画」策定が、各委員や関係者のご協力の中、無事終了いたしましたことを厚くお礼申し上げます。

本計画策定にあたっては、教育委員会からの諮問を受け、策定作業を行いました。

その中で、まずは策定委員自らが本町の現状と課題を抽出し、今後の南富良野町の目指すべき姿を検討することで、本計画は、確実に実践できる計画でなければ意味がないということを実感することができました。

今後は、今回策定した社会教育中期計画が、いかに地域に根付いたものとして展開されていくかが問われてきます。それにはより細やかな年度ごとの計画が必要であり、社会教育委員やスポーツ推進委員と教育委員会職員、各分野で能力を発揮される方々がお互いに協力、連携しながら、事業を進めていくことが必要となってきます。

町民一人ひとりが社会教育の必要性を感じていただき、自ら行動していただけることを願うとともに、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げまして、南富良野町第7次社会教育中期計画策定にあたってのことばといたします。

平成30年3月

南富良野町社会教育委員の会

委員長 西山 雅明

目 次

町章、町民憲章

南富良野町教育委員会教育長あいさつ

南富良野町社会教育委員の会委員長あいさつ

第1章 計画策定の目的と位置づけ	1
1 計画の目的と意義	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画期間	2
4 計画の策定方法	2
第2章 南富良野町の現状と課題	3
1 地域の現状	3
第3章 前期計画の評価・検証	4
第6次社会教育中期計画の評価と検証	4
第4章 基本理念と目標	16
1 基本理念	16
2 計画の目標	17
・計画の目標	・計画の体系
第5章 計画の推進に向けた取り組み	19
1 家庭教育	19
2 少年教育	21
3 青年(成年)教育	23
4 高齢者教育	24
5 芸術文化の振興	26
6 体育の振興	29
資料編	31
南富良野町第7次社会教育中期計画アンケート結果	31
諮問書	43
答申書	44
第7次社会教育中期計画策定委員会	45

第1章 計画策定の目的と位置づけ

1 計画の目的と意義

本町における社会教育の推進は、第6次社会教育中期計画（平成25年度～29年度）を基にいつでも・どこでも・だれもが学習できる体制の構築と学んだ成果の活用機会の充実を推進することにより、教養を積み視野を広げ、文化・スポーツ活動等への積極的な参画や実践が図られるなど、生涯学習に対する関心の高まりとともに活動の幅を広げてきています。

今後も町民の生きがいをより一層充実させるための方策に引き続き取り組むとともに、社会教育・生涯学習に関する町民の要望や地域社会の要請などに応じ、魅力ある学習機会を提供する必要があります。

こうしたことから、本計画は「第6次社会教育中期計画」における評価と本町における社会教育の現状を踏まえ、町民の生きがいを創出し、望ましい人づくりや地域づくりに寄与することを目的として、今後5年間に取り組むべき推進方策を探り策定するものです。

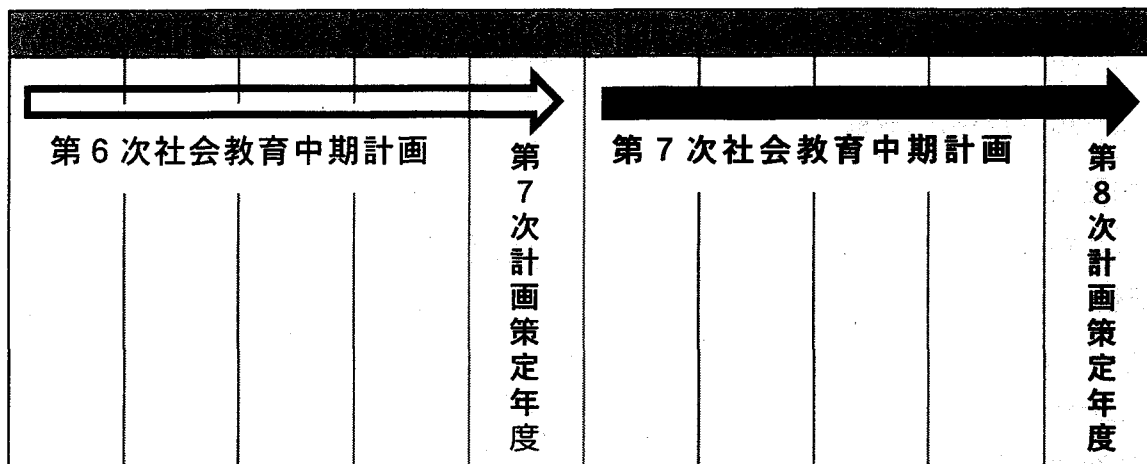
2 計画の位置づけ

本計画は、「南富良野町第5次総合計画」に基づいた社会教育のマスタープランであり、総合計画と調和をとり、連携するものとして位置づけられる計画です。

また本計画は、社会教育委員の会における検討を踏まえ、今後南富良野町が目標とする新たな社会教育を実現するため、基本的な方向性と具体的な施策の展開方向を示すもので、社会教育の推進に重要な役割を果たすものです。

3 計画期間

本計画の期間は、平成30年度から平成34年度の5年間とします。



※ 計画の進捗状況や制度改革、地域情勢などが著しく変化した場合は、状況に応じて適宜見直しを検討するものとします。

4 計画の策定方法

南富良野町社会教育委員の会

本計画の策定にあたっては、教育委員会からの諮問を受け、社会教育及び家庭教育の関係者、学識経験者で構成される社会教育委員の会において検討し、答申しました。

本計画策定にあたり、町民一人ひとりが生涯学習を通して生きがいのある生活を送れるよう、生涯学習の観点に立って社会教育の推進を図る必要があり、策定の基礎資料とするためアンケート調査を実施いたしました。

(1) 調査対象

全町民の成人を対象に無作為で抽出しました。

成人者数	抽出者数	男性	女性
2,318人	300人	150人	150人

(2) アンケート回収率 41% (回収 122人)

第2章 南富良野町の現状と課題

1 地域の現状

(1) 南富良野町の概要

南富良野町は、北海道のほぼ中央に位置し、空知川に沿って、北落合、落合、幾寅、東鹿越、金山、下金山という6つの地区から形成され、北は富良野市、東は新得町、南は占冠村、西は夕張市に隣接しています。

町域は、東西43.3km、南北45.9km、総面積665.52km²と広大で、そのほとんどが自然のままの豊かな森林となっています。

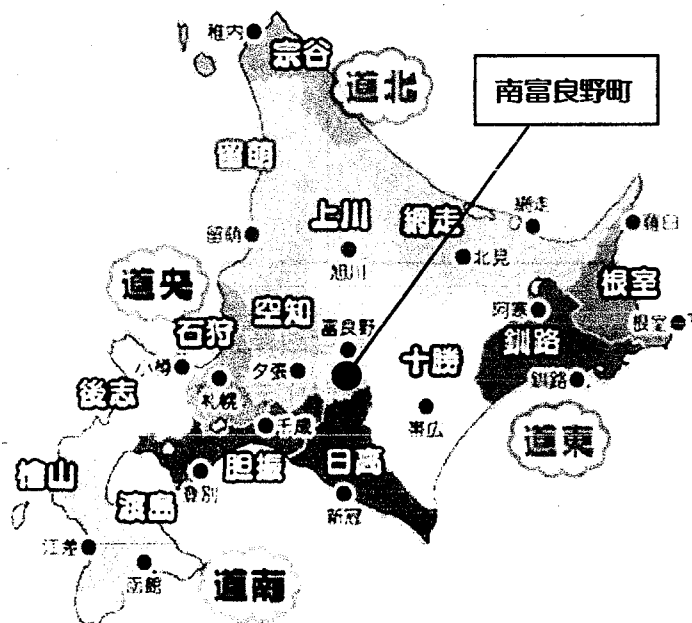
山間の地形のため、昼夜の寒暖の差が大きく、夏冬の季節温度の差が50℃を上回ることもあり、また、冬期間の積雪も多く北海道の中でも大変厳しい気象条件にあります。

交通網は、東西に国道38号線、南北に237号線の主要幹線道路があります。

農業を基幹産業として発展を遂げてきましたが、年々農業就業者数は減少傾向にあり、高齢・過疎化が進んでいます。

かなやま湖周辺は、釣りやカヌー、水上バイク等のスポーツやキャンプ、レクリエーションの場として、空知川流域はカヌー、ラフティングの場として最適なほか、町内では雄大な自然を背景に四季折々の変化に富んだ景観を満喫することができ、大自然と人間とのふれあいの魅力を心ゆくまで楽しむことができます。

平成元年9月には、「第44回国民体育大会カヌー競技」(はまなす国体)の開催地となり、同じ国民体育大会カヌー競技の開催地となった沖縄県本部町と、カヌーが縁で平成2年より児童生徒の交流事業が始まり、平成8年7月に友好の町として盟約調印を行い、昨年、盟約調印20周年記念式典を開催し子ども達を中心とした友好の輪を広げてきております。



第3章 前期計画の評価・検証

【第6次社会教育中期計画の評価と検証】

評価基準

A：概ね計画どおりの取り組みができた

B：十分ではないが取り組みができた

C：取り組みができていない

1 家庭教育

計画目標：「学習機会の充実」（子どもの望ましい生活習慣の定着）

施策・事業名	事業内容	評価
生活リズムの定着	子どもたちが、はつらつとした毎日を送ることができるよう、学校・家庭・地域と連携した「早寝早起き朝ごはん」運動の推進及び生活リズムチェックシートを活用し、子どもたちの生活リズムの定着を図る。	A
放課後時間の活用	テレビゲームやインターネット等をしている放課後の時間を家庭学習や読書の時間、体力づくり、自然体験等の時間へ変えていけるよう、機会づくりの推進を図る。	A
望ましい生活習慣定着事業 「通学合宿」・「子ども朝活事業」	家庭学習習慣と長期休業中に乱れやすい生活習慣の定着を図る。 (子ども朝活事業の実施)	A

計画目標：「学習拠点の整備」（家庭教育力（親育ち）向上の場づくり）

施策・事業名	事業内容	評価
家庭教育事業の実施	家庭教育サポート企業等と連携し、授業参観日の懇談会等を活用した家庭教育事業を実施。	C
ちょっと一息雑談タイム事業	家庭教育に関する講演会や学習会を通して、親同士の交流と子どもの健全育成を推進する。 (就学時健診時に併せて実施)	A
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整え、学校教育の充実、生涯学習社会の実現、地域の教育力の向上を図る。 (放課後子ども教室の実施)	A

計画目標：「人づくりの推進」（放課後子どもプラン）・（PTA活動の支援）

施策・事業名	事業内容	評価
地域力の向上	地域のマンパワーを活用して、放課後子ども教室の学習・体験・交流・遊び等に取り組むことで、地域の人材育成を行う。	A
PTA活動	PTA活動の推進において社会教育主事の参画や研修会における支援の検討。	B

計画目標：「情報発信の充実」（意見交換の場づくり）

施策・事業名	事業内容	評価
懇談会の実施	子育てサークル等を中心に、情報交換の場を作り、親子体験・家庭教育に関する事業や情報周知、ニーズ調査。	C

2 青少年教育

計画目標：「学習機会の充実」（青少年体験活動）

施策・事業名	事業内容	評価
友好の町沖縄県本部町親善交流事業	南富良野町と本部町の児童が相互に訪問し、両町の文化・生活様式を理解及び体験学習交流を通じ友好の輪を広げる。	A
南富良野町青少年体験活動	家庭教育サポート企業や総合型地域スポーツクラブと連携して、青少年が様々な野外活動を体験できる機会を作る。	A
少年の主張への参加	上川総合振興局管内「少年の主張」において、中学生が体験したことや考えていることを発表し、感受性を育む。	A
青少年の体験活動推進事業への参加	学習活動を通し、地域活動やまちづくりに参画する青少年活動リーダーを養成する。	A

計画目標：「学習拠点の整備」（学習環境の整備）

施策・事業名	事業内容	評価
学習環境の整備	子どもたちが安全にのびのびと体験活動ができるよう、公民館や体育施設の充実に努め、体験活動の機会づくりを推進する。	B

計画目標：「人づくりの推進」（子ども会活動の支援）

施策・事業名	事業内容	評価
子ども会育成連絡協議会	子ども会活動の活性化に向けて子ども会育成連絡協議会への支援を行う。	A

計画目標：「情報発信の充実」（意見交換の場づくり）

施策・事業名	事業内容	評価
体験プログラムの情報発信	国立大雪青少年交流の家や北海道立青年の家等が主催する体験プログラムなどの情報発信を推進する。	B

3 成人教育

計画目標：「学習機会の充実」（学びの場）

施策・事業名	事業内容	評価
成人式	新しい時代を担う新成人を祝福し、社会人としての責任を自覚していただくため成人式を挙げる。	A
上川総合振興局管内女性大会（H26まで開催）	女性の自発的学習意欲の掘り起こしと女性組織活動の活性化を図る。	B
公民館分館事業	各地区分館で各種講座、スポーツ、レクリエーション事業等を行うことで、各地区の特色を活かした活動を推進する。	A

計画目標：「学習拠点の整備」（社会教育施設の充実）

施策・事業名	事業内容	評価
公民館	社会教育活動の拠点施設として維持管理するとともに、各地区公民館分館の管理を、地域の自治会等が担う体制を検討する。	A
地域交流センター（旧東鹿越小学校）	インターネットによる情報周知を活用し、今後の活用方法について検討する。	C

計画目標：「学習拠点の整備」

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
コミュニティカレッジ（公開講座）	成人の学ぶ場として、南富良野高校を拠点とした、コミュニティカレッジの検討を行う。	B

計画目標：「人づくりの推進」

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
この指とまれ運動	活動を行っている団体、これから行おうとする団体の情報を発信することで、活動内容に興味を持った方が参加できるネットワークの構築を推進する。	C

計画目標：「情報発信の充実」（情報発信の整備）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
情報発信と収集	広報誌やホームページを活用して、町内で活動を行っている団体、これから行おうとする団体の情報発信を行い活動の活性化を推進する。	C

4 高齢者教育

計画目標：「学習機会の充実」（高齢者の学びの場）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
千里（高齢者）大学	高齢者の学習の場として、高齢期の共通課題解決や地域の仲間づくり自己の特徴・経験・能力を発揮し生きがい学習の場を提供する。	A

計画目標：「学習機会の充実」（高齢者の学びの場）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
友好の町沖縄県本部町との親善交流事業	両町児童による相互交流に加え、千里（高齢者）大学の研修等において、両町の文化・生活様式の理解及び体験学習交流を通じ友好の輪を広げる。	A

計画目標：「学習拠点の整備」（発表機会の推進）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
高齢者学びの集い	上川管内高齢者学びの集いに参加して、日ごろの活動内容を発表	A
学校・地域における発表機会	学校の総合的な学習の時間や行事、地域のふれあい・サロン活動等を活用し、日ごろの活動内容を発表	B

計画目標：「人づくりの推進」（マンパワーの育成）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
千里（高齢者）大学を活用した人づくり	千里（高齢者）大学の授業の講師に大学卒業生や町内の人材を活用し、マンパワーの育成を行う。	A

計画目標：「情報発信の充実」（公開授業の実施）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
千里（高齢者）大学公開授業	公開授業を通して、地域住民に千里（高齢者）大学の活動内容を理解してもらうと共に、住民の学ぶ機会を提供する。	A

5 芸術文化の振興

計画目標：「学習機会の充実」（南富良野町の歴史を知る）・（住民学びの場）

施策・事業名	事業内容	評価
史跡めぐり	町内にある史跡をめぐり、郷土の歴史、文化に対する関心を深める。	B
文化財の保存・伝承	町無形文化財である幾寅獅子舞保存会の活動や狩勝太鼓の活動を今後も継続していくため、学校の総合学習の時間や文化発表会等において演技することで、子どもの頃から文化財に触れ合う機会づくりを検討する。	B
英会話教室	英会話教室及び出前英会話教室を通して、国際社会に対応した語学力とコミュニケーション能力の向上を図る。	A
住民自主企画活動支援事業	町民自らが企画した講演会等の事業に助成を行い、団体の活動促進や町民の学習活動の充実と拡充を図る。	A
北海道巡回小劇場公演（舞台芸術公演）	舞台芸術にふれる機会の少ない児童の豊かな感性や個性を育むとともに、芸術に関する理解を深めることを目的に芸術公演を開催。	A
北海道舞台塾公演 （ふらの塾OBユニット公演）	富良野沿線5市町村と北海道上川総合振興局、ふらの演劇工場をもって実行委員会を構成し、地域文化の活性化を図り、町民が演劇に親しむ機会の充実を図る。	A

計画目標：「学習機会の充実」（住民学びの場・図書事業）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
読書活動推進事業	読書活動推進計画に基づき、公民館図書室を中心として、住民の読書活動を推進する。	B
巡回図書の実施	公民館図書室から、各分館や学校等へ巡回図書を実施することで、町民の読書活動の推進を図る。	B
視聴覚ライブラリー	富良野地区視聴覚教育協議会が保有するDVDを5市町村で巡回させ鑑賞機会の提供を行う。	A
ブックスタート事業	絵本を通して親子のふれあいを育むとともに、子どもが本と出会う機会づくりを推進する。	A
子ども絵本まつり	絵本を通して親子のふれあい機会の提供と、子どもの読書への意識を高揚させ、家庭の教育力の向上を図る。	A

計画目標：「学習拠点の整備」（図書室の運営）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
図書室職員の配置	図書室への職員配置を検討し、図書室の運営、読書活動推進のための事業を推進する。	B
図書室の整備	町民が活用しやすい図書室となるよう、図書室の環境改善、図書管理検索システムの導入を検討する。	B

計画目標：「学習拠点の整備」（文化関係施設等の整備）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
郷土資料室	郷土資料の収集・保存・展示の充実を図り、施設が老朽化していることから、空き施設への移転と施設の管理体制を整え、郷土資料を有効活用できる体制づくりを検討する。	B

計画目標：「人づくりの推進」（文化団体への支援）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
文化団体への支援	団体・サークルの活動拠点として、各公民館分館を有効に活用し、施設指定管理業務の内容に文化団体の活動支援を盛り込むことを検討する。	B

目標：「情報発信の充実」（情報発信の整備）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
情報発信の充実	広報誌を活用して、文化教室や発表会の周知をさらに充実させるとともに、公民館などの社会教育施設を活用して、町内の各文化団体の活動情報を収集・発信できる体制の構築を図る。	B

6 体育の振興

計画目標：「学習機会の充実」（スポーツの普及・振興）

施策・事業名	事業内容	評価
スポーツ推進計画の策定	南富良野町スポーツ推進計画を策定し、地域の特色を活かしたスポーツの推進を図る。	B
幼児健康スポーツ教室	スポーツを通して親と子のふれあいを図り、幼児の健全な発達に寄与する。	A
町の特色を活かしたスポーツの振興	カヌー、カーリング等本町の特色を活かしたスポーツの更なる普及を図る。	A
スポーツ教室・大会	各種スポーツ教室・大会を実施するとともに、競技によっては、既存のスポーツ団体と重複することから、事業を移管・共催し、新たな種目の開催を検討する。	A
総合型地域スポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブと連携し、町民が様々なスポーツを体験できる機会とアスリートやスポーツ指導者の育成を図る。	A
コーディネーショントレーニングの普及	学ぶ場と人材の育成を図り、コーディネーショントレーニングを活用した指導法の普及を図る。	A

計画目標：「学習拠点の整備」（体育施設）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
町民体育館	スポーツ活動の拠点施設として維持管理を図り、総合体育館の新築についても検討します。	B
空知川スポーツリンクス	夏はカヌーやラフティングのアウトドアスポーツ、冬はカーリングの拠点施設として維持管理を図り、外壁並びに冷却装置を改修し、施設の充実を図ります。	B
かなやま湖スポーツ研修センター	町の特色を活かしたカヌーの拠点施設として、町民への普及高校の部活動等、カヌーの普及・推進を図り、スポーツ合宿等の誘致を推進する。	B
町営湖畔野球場	野球・ソフトボール等、屋外スポーツ活動の拠点施設として維持管理を図る。	A
学校開放事業	学校施設を住民に開放し、スポーツ活動及び文化活動の利用、推進を図る。	A
クラブハウスの設置	総合型スポーツクラブの活動拠点となるクラブハウスの設置を検討し、町民同士の交流の場づくりとスポーツや文化情報の収集・発信の推進を図る。	C

計画目標：「人づくりの推進」（アスリートの育成）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
スポーツ推進委員の活動	事業の実施や連絡調整、住民に対するスポーツの実技指導等を通して地域のスポーツの振興を図る。	B
アスリート派遣補助	町民が各種スポーツの全道、全国、国際大会等に出場する際に、派遣経費の一部を補助することにより、町民のスポーツ活動への意識の高揚と町内のスポーツ振興を図る。	A
スポーツ団体への支援	体育協会、スポーツ少年団及び総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、地域スポーツの普及・推進を図る。	B

目標：「情報発信の充実」（情報発信の整備）

施 策 ・ 事業名	事業内容	評価
情報発信の充実	広報誌を活用したスポーツ教室や大会の周知をさらに充実させるとともに、町内の各スポーツ団体の活動情報を収集・発信できる体制の構築を図る。	B

第4章 基本理念と目標

1 基本理念

過疎化や少子高齢化、核家族化による地域の連帯感の希薄化、情報化の進展など、社会環境が変化する中で、住民一人ひとりが、健康で生きがいのある豊かな生活を営めるよう社会教育の充実が求められています。

本町では、読書活動、千里（高齢者）大学、公民館分館活動など、幼児から高齢者までの各世代にわたり、また地域ごとの学習機会づくりを進めるとともに、住民自主企画活動支援事業により、住民の自主的な学習活動を促進し、多様化する学習ニーズに対応しながら社会教育の充実を進めてきました。

いつでも、どこでも、だれもが自由に学ぶことができる生涯学習社会の実現に向けて、公民館や図書室などの施設の充実と生涯学習活動を担う人材の育成、多様な学習機会の提供が必要です。

また、町内には、町民体育館や空知川スポーツリンクス、南ふらのスキー場などのスポーツ施設があり、各種大会やスポーツ教室が行われているほか、恵まれた自然を活用したカヌーやラフティングなどのアウトドア体験活動も行われています。

スポーツ活動は、健康づくりをはじめ、住民・親子・異世代の交流による地域コミュニティの形成、青少年の健全育成など多くの役割を担っています。

このことから、各年齢に応じたスポーツの活動機会を得られるよう、体育協会や各種団体の活動支援と指導者の育成、総合型地域スポーツクラブとの連携が求められています。

さらには、文化協会が中心となり、多種多様な文化・芸術活動が行われているほか、その成果を発表する場として、芸能発表会などが開催され、今後も、住民のだれもが気軽に文化・芸術にふれ、自主的な活動を行うことができる環境づくりを進めていく必要があります。

このように、地域に住む人々が様々な形で強く「つながる」ことが必要とされている中で、社会教育を通して、全ての住民が「つながり」を持ち、地域課題や生活課題に向かい合い、自らの将来の夢や希望をしっかりと持ち、課題解決に向けた方策と一緒に話し合いながら実践していくことができる地域を作っていくため、次の理念に基づき社会教育活動を推進していきます。

基本理念

確かな学力・豊かな心・健やかな体を育むまちづくり

2 計画の目標

基本理念を実現するために、本計画では、次の3つの目標を掲げ、計画推進に積極的に取り組み、毎年、各項目の評価と検証を行います。

(1) 学習機会の充実

各世代に合わせた学びの場を充実させることで、いつでも、どこでも、だれもが自由に学ぶことができ、住民一人ひとりが、健康で生きがいのある豊かな生活を営めるよう社会教育を推進していきます。

また、学習の場を通して、住民同士の交流や情報交換、異世代交流等、世代を越えた連携を強化することで、人と人がつながることのできる地域づくりの推進を図ります。

(2) 施設の有効活用

社会教育施設、体育施設等を有効活用しながら、町民の社会教育活動を推進していきます。

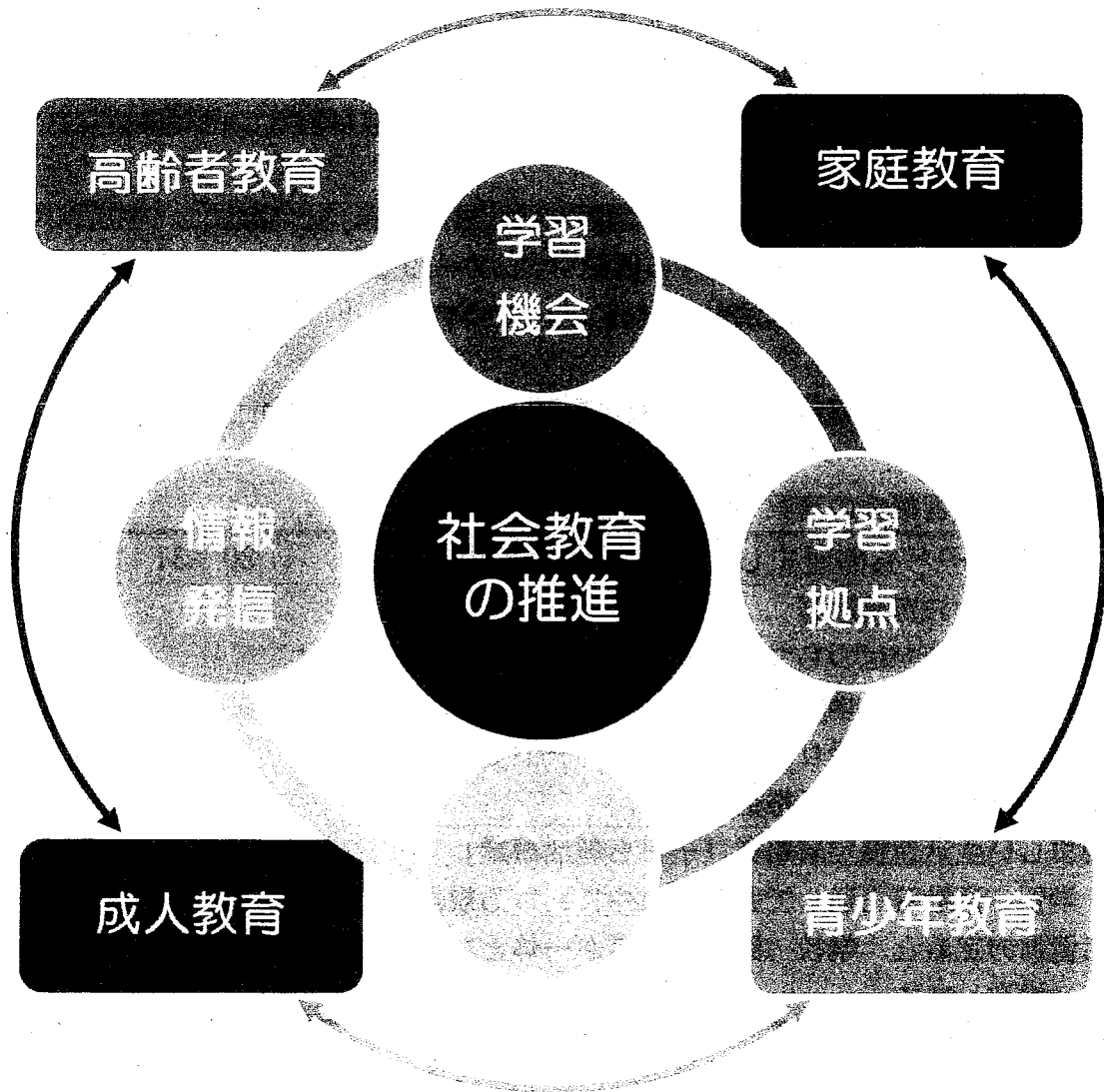
(3) 人づくりの推進

社会教育を推進するうえで、住民同士が学びあい、それぞれが意欲を高め、活動していく中で、南富良野町を知り、南富良野町で文化やスポーツに関する活動を推進していきます。

計 画 の 体 系

基本理念

確かな学力・豊かな心・健やかな体を育むまちづくり



第5章 計画の推進に向けた取り組み

1 家庭教育

【基本方針】

少子化、核家族化、地域コミュニティの希薄化等により、家庭や地域の教育力の低下が指摘されており、これらを解決することが、社会全体で取り組まなければならない課題となっています。

また、家庭と地域は密接な関係を有することから、学校も含め、家庭と地域がそれぞれの役割を見直し、互いに協力し、教育力の向上に取り組むことが求められています。

本町においては、子どもたちの「家庭学習習慣の定着」と「望ましい生活リズムの定着」を目指し、親子で参加できる活動や大人が一生懸命になっている姿を子どもに見せることができるような活動を推進していきます。

【施策】 ◎ 重点事業 ○ 継続事業 ☆ 事業の検討・見直し

計画目標：学習機会の充実

子どもの望ましい生活習慣の定着	30	31	32	33	34
・生活リズムの定着事業 子どもたちがはつらつとした毎日を送ることができるよう、学校・家庭・地域と連携した「早寝早起き朝ごはん」運動の推進及び生活リズムチェックシートを活用した生活リズムの向上・定着を推進します。	○	○	○	○	○
・望ましい生活習慣定着事業「子ども朝活事業」 学習・運動等を通して長期休業中における規則正しい生活習慣の定着と、学校・家庭・地域が一体となった取り組みを推進します。	◎	○	○	○	○

計画目標：学習拠点の整備

家庭教育力（親育ち）向上の場づくり	30	31	32	33	34
・ちょっと一息雑談タイム事業 就学時健診等の保護者が集まる機会を活用し、家庭教育に関する講演会や学習会を開催するとともに、親同士の交流機会の提供を図ります。	○	○	○	○	○

計画目標：学習拠点の整備

学校・家庭・地域の連携による教育支援活動	30	31	32	33	34
<p>・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業</p> <p>学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整え、学校教育の充実、生涯学習社会の実現、地域の教育力の向上を図り、放課後における子どもたちの安全な居場所づくりと併せ、学習や運動・交流活動等の機会を提供する放課後子ども教室の運営推進を図ります。</p>	○	○	○	○	○

計画目標：人づくりの推進

地域人材等の活用	30	31	32	33	34
<p>・地域人材育成事業</p> <p>地域のマンパワーを活用して、放課後子ども教室等における体験や交流に取り組むことで、地域の人材育成推進を図ります。</p>	○	○	○	○	○

【子ども朝活事業学習プログラム状況】



【子ども朝活体験プログラム状況】



2 少年教育

【基本方針】

子どもの頃の様々な体験が豊富な人ほど、大人になってからの生きがいやモラル、人間関係能力などの資質や能力が高い傾向にあることが示されています。

普段の友だちとの遊び、家の手伝いや地域活動などは、子どもたちの健やかな成長に大切なものです。

豊かな体験活動を通して、物事を成し遂げる喜びや自ら進んで困難に挑戦する意欲的な態度を育むことが重要となってきます。

そのため地域において、子どもが自由に選択して参加できる機会を作り、自然体験活動やボランティア活動などを通し、子どもが自分の良さを発見できる場を提供していきます。

【施策】 ◎ 重点 ○ 継続 ☆ 事業の検討・見直し

計画目標：学習機会の充実

青少年の体験活動	30	31	32	33	34
・ 友好の町沖縄県本部町との親善交流事業 南富良野町と本部町の児童が相互に訪問し、両町の文化・生活様式の理解及び体験学習交流の推進を図ります。	○	○	○	○	○
・ 南富良野町青少年体験活動 家庭教育サポート企業や総合型地域スポーツクラブと連携し、様々な野外活動を体験できる機会の提供を図ります。	○	○	○	○	○
・ 少年の主張への参加 上川総合振興局管内「少年の主張」において、中学生が体験したことや考えていることを発表し、感受性を育みます。	○	○	○	○	○
・ 青少年の体験活動推進事業への参加 学習活動を通し、地域活動やまちづくりに参画する青少年活動リーダーを養成します。	○	○	○	○	○

計画目標：学習拠点の整備

学習環境の整備	30	31	32	33	34
<p>・学習環境の整備</p> <p>子どもたちが安全に様々な体験活動ができるよう、公民館や体育施設の充実に努めながら、体験活動の機会づくりを推進します。</p>	○	○	○	○	○

計画目標：人づくりの推進

子ども会活動の支援	30	31	32	33	34
<p>・子ども会育成連絡協議会</p> <p>子ども会活動の活性化に向けて、子ども会育成連絡協議会への支援を行います。</p>	○	○	○	○	○

【友好の町沖縄県本部町との親善交流事業】



3 青年（成年）教育

【基本方針】

社会の一員として職場・家庭・地域において中心的な役割と責任を担っており、余暇時間の活用の仕方が重要となってきました。

ニーズの多様化や高度化により、多くの住民が一同に会しての学習が難しくなっていることから、一人ひとりが豊かで充実した人生を築くため、学習要求に応じた様々な学習の機会が求められています。

人々が共に助け合い、共に生きる地域社会を作るため、家庭や地域を取り巻く様々な学習機会の提供推進を図っていきます。

【施策】 ◎ 重点事業 ○ 継続事業 ☆ 事業の検討・見直し

計画目標：学習機会の充実

学びの場の提供	30	31	32	33	34
・成人式 新しい時代を担う新成人を祝福し、社会人としての責任を自覚していただくため、成人式を挙ります。	○	○	○	○	○
・公民館分館事業 各地区分館で各種講座、スポーツ、レクリエーション事業等を行うことで、各地区の特色を活かした活動を推進します。	○	○	○	○	○

計画目標：学習拠点の整備

社会教育施設の充実	30	31	32	33	34
・公民館 社会教育活動の拠点施設として、施設の充実に努め公民館分館施設を各自治会による指定管理とし、適切な管理運営を推進します。	○	○	○	○	○

計画目標：人づくりの推進

地域ネットワークの構築	30	31	32	33	34
・地域ネットワーク構築事業 職域を超えた青年同士のネットワーク構築と地域活動を担える人材の育成を図るとともに、活動を行っている団体等への支援と連携した社会教育事業を推進します。	◎	○	○	○	○

4 高齢者教育

【基本方針】

本町では、高齢化や核家族化、過疎化が進み、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加傾向にあり、本町に住み続けたいと考えている高齢者が多くいる一方で、やむなく転出される方もいる状況にあります。

このような超高齢化社会において、生涯をいかに豊かに充実したものとして生活できるかは、高齢者一人ひとりの問題であると同時に、地域社会の発展に関わる大きな問題でもあります

千里（高齢者）大学を通して、高齢者の共通課題解決や地域の仲間づくり・自己の特性・経験・能力が発揮できるように生きがい学習の場を提供していきます。

【施策】 ◎ 重点事業 ○ 継続事業 ☆ 事業の検討・見直し

計画目標：学習機会の充実

高齢者の学びの場	30	31	32	33	34
・千里（高齢者）大学 高齢者の学習の場として、高齢期の共通課題解決や地域の仲間づくり・自己の特徴・経験・能力を発揮しより充実した生きがい学習の場を提供していきます。	○	○	○	○	○

学習拠点の整備

発表機会の推進	30	31	32	33	34
・高齢者学びの集い 上川管内高齢者学びの集いに参加し、学生自らが学んだことの実践発表ができるよう取り組んでいきます。	○	○	○	○	○
・地域参加 地域イベントや町の行事等へ積極的に参加し、学生自らが学んだことの実践発表ができるよう取り組んでいきます。	◎	○	○	○	○

計画目標：人づくりの推進

人材育成の推進	30	31	32	33	34
・千里（高齢者）大学を活用した人づくり 千里（高齢者）大学授業の講師に町内の人材を活用しながら、地域人材の育成推進を図ります。	○	○	○	○	○

【千里大学授業風景】



【千里大学異世代交流学习】



5 芸術文化の振興

【基本方針】

本町では、南富良野町文化協会による芸能発表会の開催など文化活動が行なわれているほか、その成果を発表する場として、芸能発表会などが開催されています。

また、本町では、昭和40年に「幾寅獅子舞」を町の無形文化財に指定しており、保存・伝承活動を支援しています。

今後も、郷土の歴史・文化への関心を高め、郷土芸能の保存・伝承に努めるとともに、住民が文化や芸術にふれる機会づくりを進め、貴重な文化財の保存・活用に努めます。

【施策】 ◎ 重点事業 ○ 継続事業 ☆ 事業の検討・見直し

計画目標：学習機会の充実

南富良野町の歴史・文化を知る	30	31	32	33	34
・史跡めぐり 既存の事業を活用しながら町内にある史跡をめぐり、郷土の歴史、文化に対する関心を深めていきます。	○	○	○	○	○
・文化財の保存・伝承 町無形文化財である幾寅獅子舞保存会の活動を今後も継続していくため、社会教育事業と連携しながら文化財に触れ合う機会づくりの提供に努めていきます。	○	○	○	○	○
住民学びの場	30	31	32	33	34
・英会話教室 英会話教室・出前英会話教室を通して、国際社会に対応した語学力とコミュニケーション能力の向上推進を図ります。	○	○	○	○	○
・住民自主企画活動支援事業 町民自らが企画した講演会等の事業への助成を行い、団体活動の促進や町民の学習活動機会の提供推進を図ります。	○	○	○	○	○

計画目標：学習機会の充実

芸術文化への触れ合い	30	31	32	33	34
<p>・北海道巡回小劇場公演（舞台芸術公演）</p> <p>舞台芸術にふれる機会の少ない児童の豊かな感性や個性を育むため舞台芸術公演を開催していきます。</p>	○	○	○	○	○
<p>・北海道舞台塾公演</p> <p>町民の豊かな感性を育み、多彩な芸術文化に触れる機会として、演劇公演を開催していきます。</p>	○	○	○	○	○
図書事業	30	31	32	33	34
<p>・読書活動推進事業</p> <p>誰もが親しみやすい図書の充実に努めるとともに、地域ボランティアなどとの連携による、本にふれあう機会の充実に取り組みながら読書活動を推進していきます。</p>	○	○	○	○	○
<p>・巡回図書の実施</p> <p>公民館図書室から、絵本の読み聞かせや地域での読書機会の充実を図るため各地区公民館へ巡回図書を実施していきます。</p>	◎	○	○	○	○
<p>・視聴覚ライブラリー事業（DVDの貸出）</p> <p>富良野地区視聴覚教育協議会が所有するDVD教材を5市町村で定期的に巡回させながら、住民が利用しやすい環境整備に努めていきます。</p>	○	○	○	○	○
<p>・こども絵本まつりへの支援</p> <p>子育て支援ボランティアサークルが主催するこども絵本まつりへの支援を行いながら、住民が本にふれあう機会の充実に努めていきます。</p>	○	○	○	○	○

計画目標：学習拠点の整備

図書室の運営	30	31	32	33	34
・図書室の整備 町民が活用しやすい図書室となるよう、図書室の蔵書整理や環境整備・新刊等の情報発信に努めていきます。	◎	○	○	○	○

計画目標：学習拠点の整備

文化関係施設等の整備	30	31	32	33	34
・郷土資料室 郷土資料の収集・保存・展示の充実を図るとともに、新たな施設へ機能を移転させ、自由に誰でも見学できる施設整備を実施します。	◎	○	○	○	○

計画目標：人づくりの推進

活動支援	30	31	32	33	34
・文化団体等への支援 町文化協会等の関係団体との連携・協力を深め、住民による主体的な文化活動を支援していきます。	○	○	○	○	○

【郷土資料室：小学生郷土学習】



【指定無形文化財：幾寅獅子舞演舞】



6 体育の振興

【基本方針】

スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものです。

また、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するもので、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠なものです。

本町においても、地域の特色を活かしたスポーツの推進を図るとともに、町民が様々なスポーツに関わることができる環境づくりとアスリート及び指導者の育成を推進していきます。

【施策】 ◎ 重点事業 ○ 継続事業 ☆ 事業の検討・見直し

計画目標：学習機会の充実

スポーツの普及・振興	30	31	32	33	34
・町の特色を活かしたスポーツの振興 カヌー、カーリング等本町の特色を活かしたスポーツの更なる普及を図ります。	○	○	○	○	○
・スポーツ教室・大会 各種スポーツ教室・大会を実施するとともに、競技によっては、既存のスポーツ団体と重複することから、事業運営を移管し、新たな種目の開催を検討していきます。	◎	○	○	○	○
・総合型地域スポーツクラブ 総合型地域スポーツクラブと連携し、町民が様々なスポーツを体験できる機会の構築とアスリートやスポーツ指導者の育成を図ります。	○	○	○	○	○
・コーディネーショントレーニングの普及 学ぶ場と人材の育成を図り、コーディネーショントレーニングを活用した指導法の普及を図ります。	○	○	○	○	○

計画目標：学習拠点の整備

体育施設	30	31	32	33	34
・町民体育館 スポーツ活動の拠点施設として指定管理による適正な維持管理をしていきます。同時に、総合体育館の新設についても検討していきます。	○	○	○	○	○

計画目標：学習拠点の整備

体育施設	30	31	32	33	34
<p>・空知川スポーツリンクス</p> <p>夏はカヌーやラフティングのアウトドアスポーツ、冬はカーリングの拠点施設として、指定管理による適正な維持管理をしていきます。</p> <p>また、カーリングの冷却装置で使用しているフロンガスが平成32年度で生産中止となることから、カーリング場の新設を踏まえ改修の検討をしていきます。</p>	☆	◎	◎	○	○
<p>・かなやま湖スポーツ研修センター</p> <p>町の特徴を活かしたカヌーの拠点施設として、指定管理による適正な維持管理と、カヌーの普及・推進を図りスポーツ合宿等の誘致を推進していきます。</p>	○	○	○	○	○
<p>・町営湖畔野球場</p> <p>野球・ソフトボール等、屋外スポーツ活動の拠点施設として、多くの住民の方に利用していただけるよう利用促進を図ります。</p>	○	○	○	○	○
<p>・学校開放事業</p> <p>学校施設を住民に開放し、スポーツ活動及び文化活動の利用推進を図ります。</p>	○	○	○	○	○

計画目標：人づくりの推進

アスリートの育成	30	31	32	33	34
<p>・スポーツ推進委員の活動</p> <p>事業の実施や連絡調整、住民に対するスポーツの実技指導等を通して地域のスポーツの振興を図ります。</p>	○	○	○	○	○
<p>・アスリート派遣補助</p> <p>町民が各種スポーツの全道、全国、国際大会等に出場する際に、派遣経費の一部を補助し、町民のスポーツ活動への意識の高揚と町内のスポーツ振興を図ります。</p>	○	○	○	○	○
<p>・スポーツ団体への支援</p> <p>体育協会、スポーツ少年団及び総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、地域スポーツの普及・推進を図ります。</p>	○	○	○	○	○

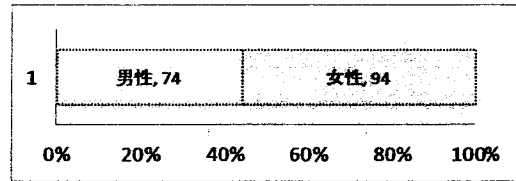
資料編

南富良野町第7次社会教育中期計画アンケート結果

問1 下記にあてはまるものに回答ください。

(ア) 性別

	回答者	割合	対象者
男性	74	44.0%	250
女性	94	56.0%	250
合計	168		500

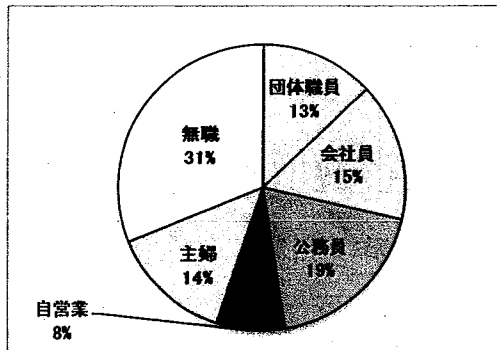
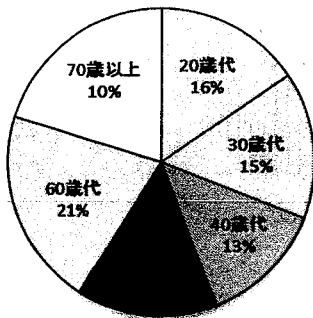


(イ) 年齢

年齢	人数
20歳代	26
30歳代	26
40歳代	22
50歳代	25
60歳代	35
70歳以上	34
合計	168

(ウ) 職業

職業	人数
団体職員	20
会社員	24
公務員	29
自営業	12
主婦	21
無職	48
合計	154

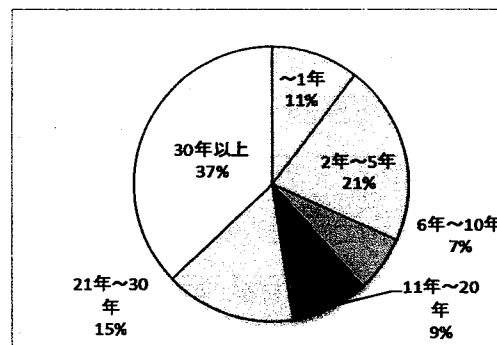
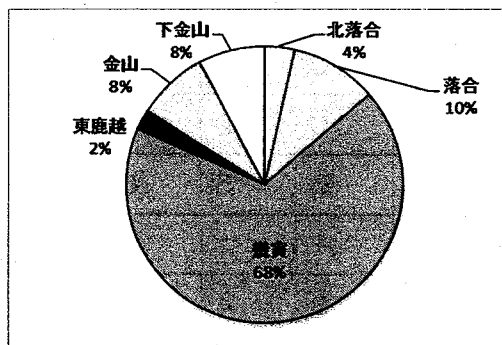


(エ) 居住地区

居住地区	人数
北落合	6
落合	17
幾寅	114
東鹿越	4
金山	14
下金山	13
合計	168

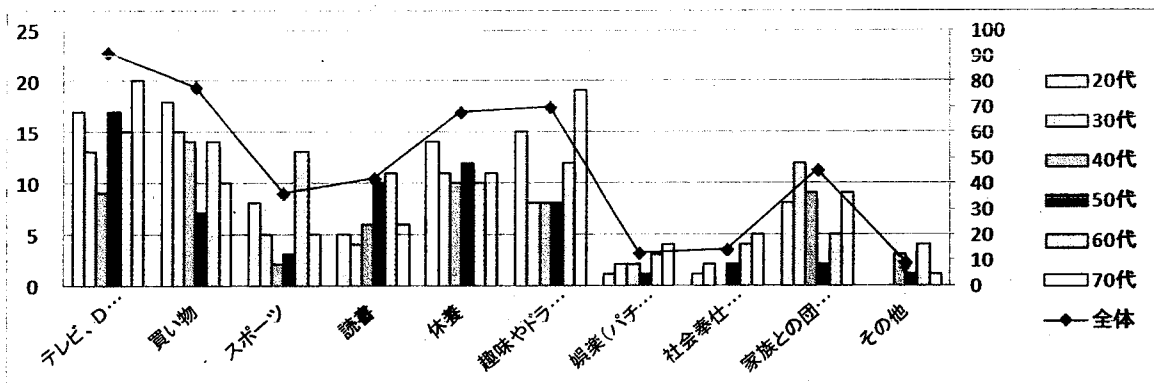
(オ) 居住年数

居住年数	人数
～1年	17
2年～5年	35
6年～10年	11
11年～20年	15
21年～30年	25
30年以上	61
合計	164



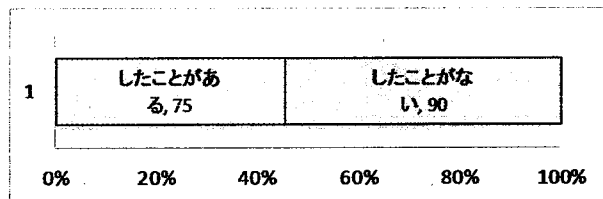
問2 あなたは、余暇（自由な時間）をどのように過ごしていますか。次の中から選んでください。（複数回答可）

余暇（自由な時間）の過ごし方	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
1 テレビ、DVD	17	13	9	17	15	20	91
2 買い物	18	15	14	7	14	10	78
3 スポーツ	8	5	2	3	13	5	36
4 読書	5	4	6	10	11	6	42
5 休養	14	11	10	12	10	11	68
6 趣味やドライブ	15	8	8	8	12	19	70
7 娯楽（パチンコ等）	1	2	2	1	3	4	13
8 社会奉仕活動	1	2	0	2	4	5	14
9 家族との団らん	8	12	9	2	5	9	45
10 その他	0	0	3	1	4	1	9



問3 あなたは、この1年間に町または教育委員会が主催する教室・講座・教育関係行事・スポーツ行事・その他に団体・サークル・個人などで参加（学習）したことがありますか。いずれかを選んでください。

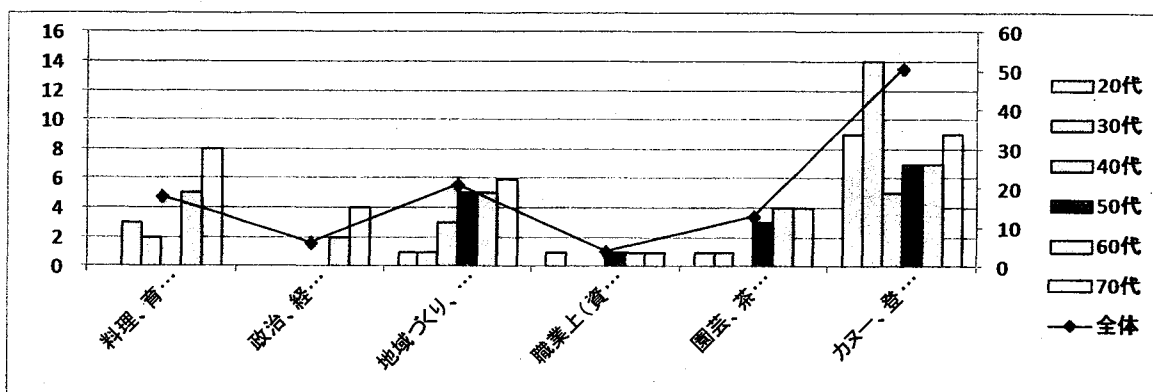
	人数
1 したことがある	75
2 したことがない	90



問4 問3で「したことがある」と答えた方におたずねします。学習（参加）の主な内容はどのようなものですか。次の中から選んでください。（複数回答可）

学習（参加）の主な内容	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
1 料理、育児、福祉、年金、保険など生活に関すること	0	3	2	0	5	8	18
2 政治、経済、法律など社会生活に関すること	0	0	0	0	2	4	6
3 地域づくり、ボランティア活動、環境問題など地域活動に関すること	1	1	3	5	5	6	21
4 職業上（資格、パソコンなど）必要な知識や技能に関すること	1	0	0	1	1	1	4
5 園芸、茶道、華道、書道、音楽、英語など趣味、芸術に関すること	1	1	0	3	4	4	13
6 カヌー、登山、ラフティング、ソフトボール、ミニバレー、スキー、カーリングなどスポーツに関すること	9	14	5	7	7	9	51

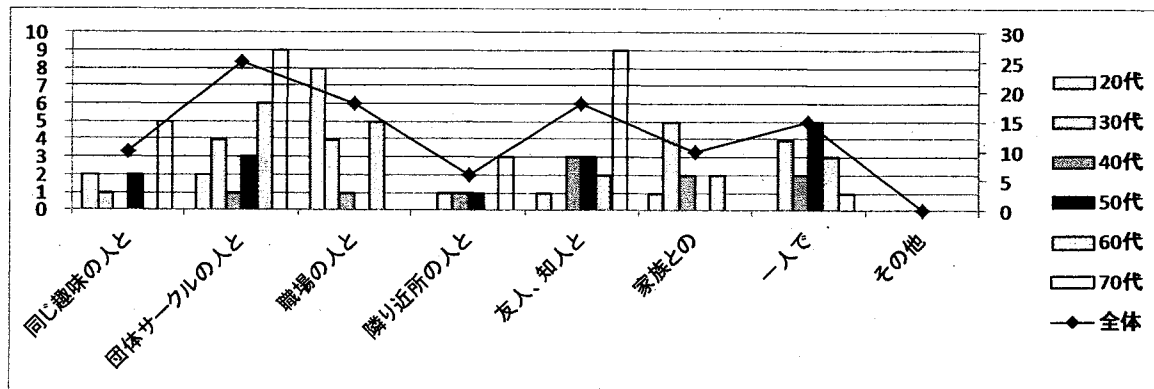
教育委員会が主催する事業に参加した内訳をみると、スポーツに関することが最も多くなっています。特に20代、30代は「スポーツに関すること」がほとんどで、年齢が高くなるにしたがって、生活に関すること、地域活動に関すること、芸術に関することへの参加が多くなっています。



問5 問3で「したことがある」と答えた方におたずねします。主に誰と行きましたか。次の中から選んでください。(複数回答可)

主に誰と行ったか	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
1 同じ趣味の人と	2	1	0	2	0	5	10
2 団体サークルの人と	2	4	1	3	6	9	25
3 職場の人と	8	4	1	0	5	0	18
4 隣り近所の人と	0	1	1	1	0	3	6
5 友人、知人と	1	0	3	3	2	9	18
6 家族との	1	5	2	0	2	0	10
7 一人で	0	4	2	5	3	1	15
8 その他	0	0	0	0	0	0	0

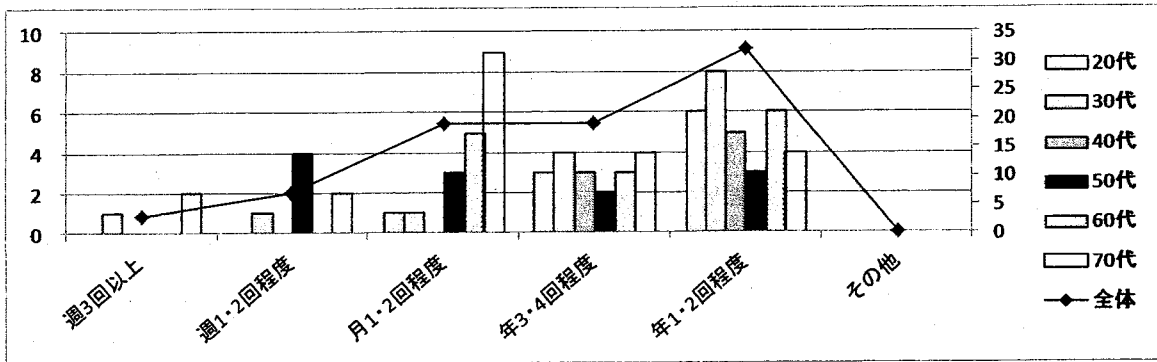
教育委員会が主催する事業に参加した仲間については、「団体サークルの人と」「職場の人と」「友人、知人と」の参加が多くなっています。特に20代、30代は仲間との参加が多くなっています。「一人で」参加する人もいますが、参加者の多くは誰かと一緒に参加することが多いようです。



問6 問3で「したことがある」と答えた方におたずねします。学習(参加)した回数はどのくらいですか。いずれかを選んでください。

学習(参加)した回数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
1 週3回以上	0	1	0	0	0	2	3
2 週1・2回程度	0	1	0	4	0	2	7
3 月1・2回程度	1	1	0	3	5	9	19
4 年3・4回程度	3	4	3	2	3	4	19
5 年1・2回程度	6	8	5	3	6	4	32
6 その他	0	0	0	0	0	0	0

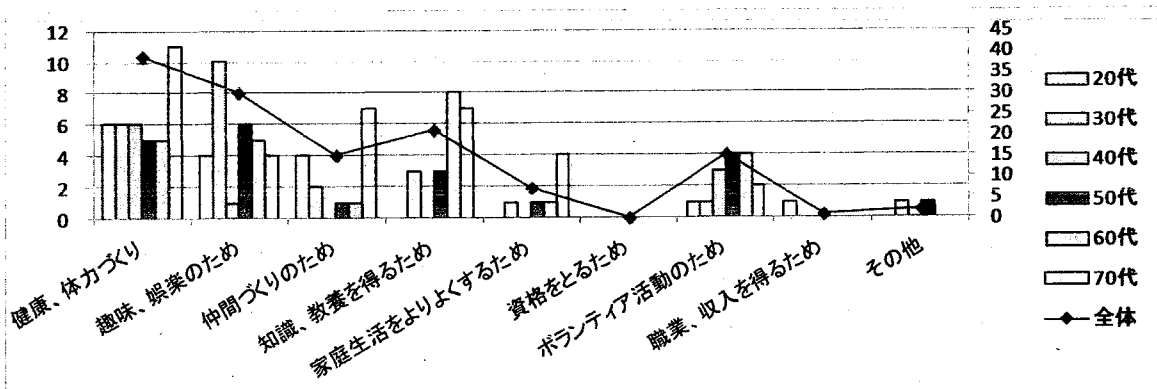
教育委員会が主催する事業に参加した回数については、1年に数回の参加が多く、毎年開催している興味のある事業へ参加する傾向が強いようです。



問7 問3で「したことがある」と答えた方におたずねします。学習（参加）した主な動機は何ですか。次の中から選んでください。（複数回答可）

学習（参加）した主な動機	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
1 健康、体力づくり	6	6	6	5	5	11	39
2 趣味、娯楽のため	4	10	1	6	5	4	30
3 仲間づくりのため	4	2	0	1	1	7	15
4 知識、教養を得るため	0	3	0	3	8	7	21
5 家庭生活をよりよくするため	0	1	0	1	1	4	7
6 資格をとるため	0	0	0	0	0	0	0
7 ボランティア活動のため	1	1	3	4	4	2	15
8 職業、収入を得るため	1	0	0	0	0	0	1
9 その他	0	1	0	1	0	0	2

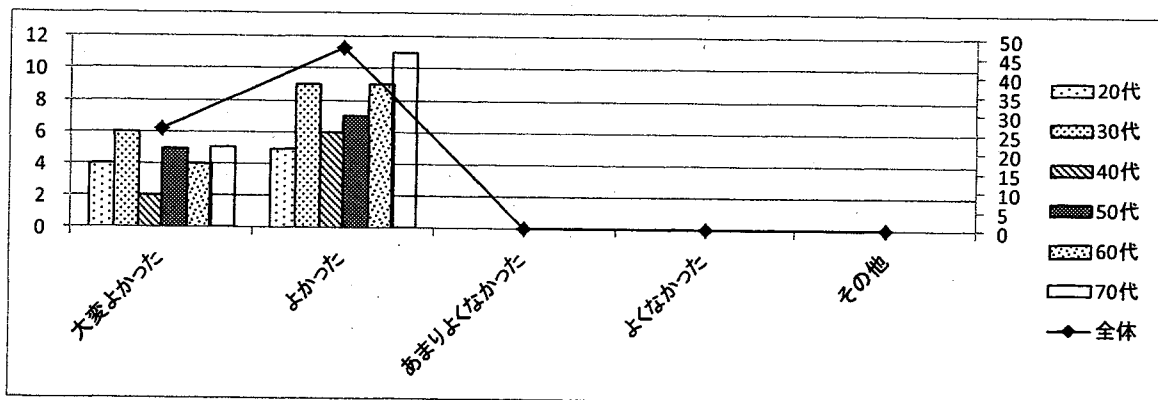
教育委員会が主催する事業に参加した動機については、「健康、体力づくり」「趣味、娯楽のため」が多くなっています。また、年齢が高くなっていくと「知識、教養を得るため」の割合が高くなっています。



問8 問3で「したことがある」と答えた方におたずねします。学習（参加）してみたの印象はどうでしたか。いずれかを選んでください。

学習（参加）してみたの印象	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
1 大変よかった	4	6	2	5	4	5	26
2 よかった	5	9	6	7	9	11	47
3 あまりよくなかった	0	0	0	0	0	0	0
4 よくなかった	0	0	0	0	0	0	0
5 その他	0	0	0	0	0	0	0

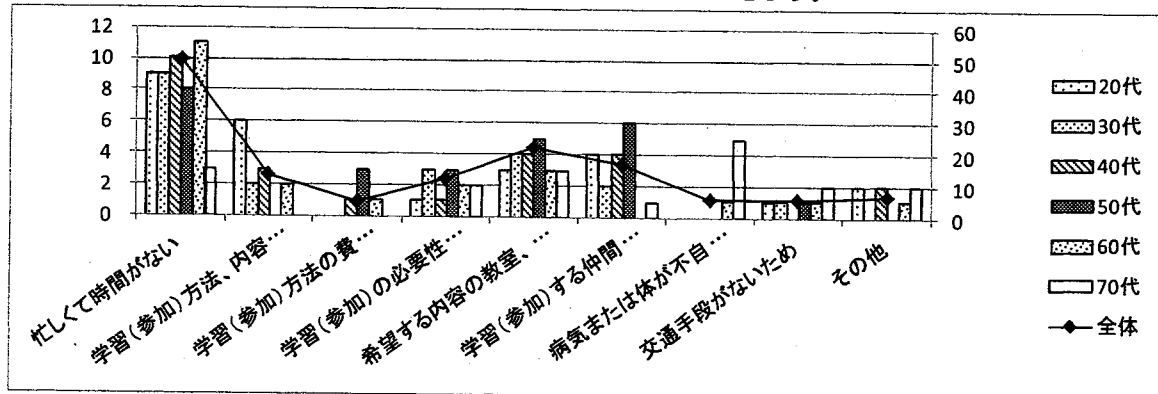
教育委員会が主催する事業に参加した印象については、「大変よかった」「よかった」のどちらかに回答しています。実際に参加してみると印象が良いことから、事業へ参加することで、社会教育活動に継続して取り組むきっかけになるのではないかと思います。



問9 問3で「したことがない」と答えた方におたずねします。学習（参加）しなかった主な理由は何ですか。次の中から選んでください。（複数回答可）

学習（参加）しなかった主な理由	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
1 忙しくて時間がない	9	9	10	8	11	3	50
2 学習（参加）方法、内容がわからない	6	2	3	0	2	0	13
3 学習（参加）方法の費用がかかりすぎる	0	0	1	3	1	0	5
4 学習（参加）の必要性を感じない	1	3	1	3	2	2	12
5 希望する内容の教室、講座などがない	3	4	4	5	3	3	22
6 学習（参加）する仲間がない	4	2	4	6	0	1	17
7 病気または体が不自由なため	0	0	0	0	1	5	6
8 交通手段がないため	1	1	0	1	1	2	6
9 その他	2	0	2	0	1	2	7

教育委員会が主催する事業に参加したことがない方は、「忙しくて時間がない」が最も多く、「希望する内容の教室、講座などがない」「学習（参加）方法する仲間がない」が続いています。事業の周知方法の工夫や事業の見直し、ニーズにあった事業の展開が必要となってきます。



問10 問3で「したことがない」と答えた方におたずねします。今後は学習（参加）しようと考えていますか。次の中から選んでください。（複数回答可）

学習（参加）しようと考えていますか	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
1 暇ができればする	7	9	5	6	9	4	40
2 学習（参加）の内容がわかればする	7	2	3	2	5	2	21
3 仲間に誘われればする	4	2	3	4	2	2	17
4 病気が回復して元気になればする	0	0	0	0	2	4	6
5 必要性を感じないのでしない	3	2	3	3	4	2	17
6 その他	0	0	3	1	1	2	7

教育委員会が主催する事業に今後参加しようとする理由としては、「暇ができればする」が最も多く、「学習（参加）の内容がわかればする」「仲間に誘われればする」が続いています。一人ではなかなか参加しづらいようなので、職場やサークルへの参加を呼び掛けていくことも必要です。

